

# Color MultiWriter 600F

## 簡単操作ガイド

### マニュアルの種類

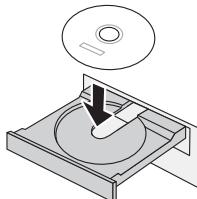
本書の表記 : 冊子 : 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク : 公式サイト

	簡単操作ガイド（本書）	本機をはじめてお使いになる方を対象に、本機の基本的な操作手順や本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。手元に置いてご活用ください。
	ユーザーズマニュアル	プリント／コピー／スキャン／ファクス機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。

- PDF マニュアルをご覧になるためには、Adobe® Reader® が必要です。

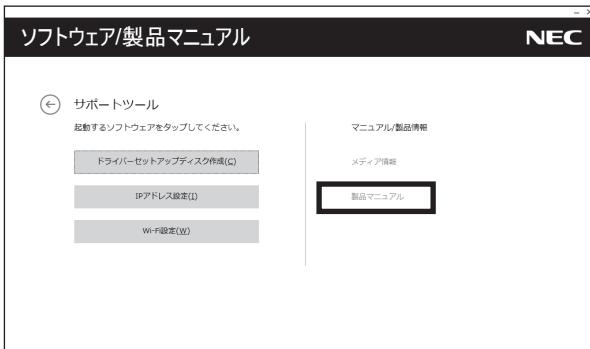
### ①「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクでマニュアルを見る

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットする
2. [サポートツール/マニュアル] をクリックする



Macをお使いの場合：[Manuals] > [Devicemanual] > [Japanese] フォルダーのindex (index.html) をダブルクリックし、手順4に進む。

3. [製品マニュアル] をクリックする



4. 確認したいマニュアルをクリックする



### ②「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの有効活用

- 本機の利用者がアクセスできる共有サーバーに、ディスクの内容をコピーして有効利用してください。

本書に掲載している画面は、実際の画面と異なる場合があります。



# Web から最新情報を得る

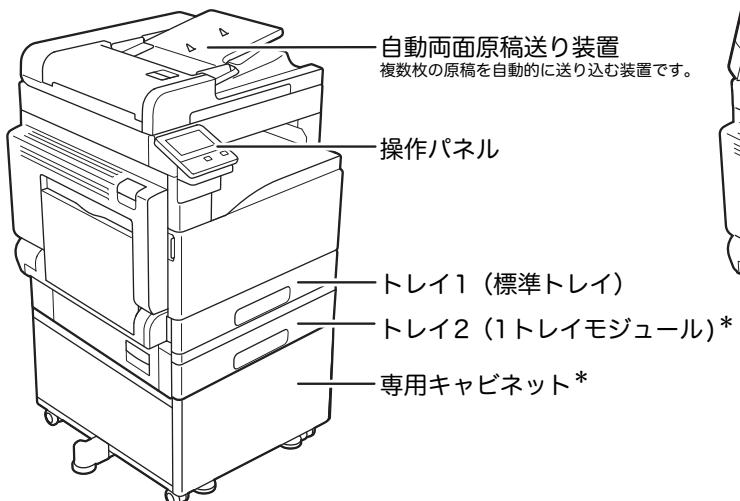
## マニュアルを見る

- 1.** サポートページにアクセスする  
<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>
- 2.** サポートページ内の [マニュアル] をクリックする
- 3.** お使いの機種をクリックする
- 4.** 必要なマニュアルをクリックする

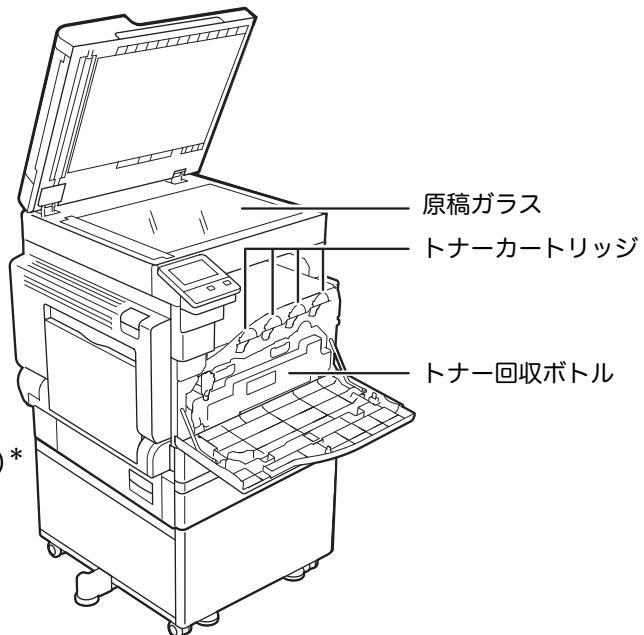
## ソフトウェアをダウンロードする

- 1.** NECの公式サイトにアクセスする  
<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>
- 2.** メニューから [プリントドライバ] をクリックする
- 3.** お使いの機種を選び、[決定] をクリックする
- 4.** 必要なソフトウェアのリンクをクリックする
- 5.** 内容を確認し、ページ下部からソフトウェアをダウンロードする

# 各部の名称



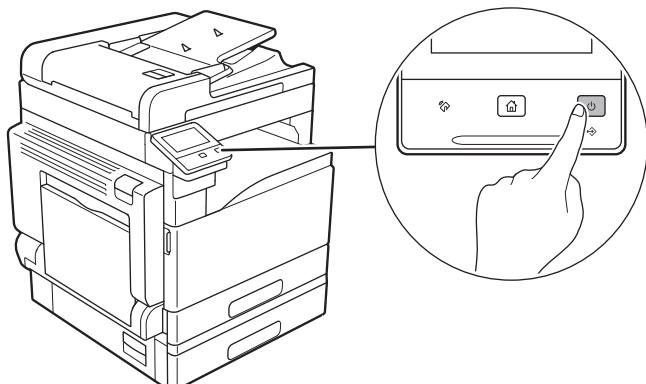
\*オプション



## 電源について

### 電源を入れるとき

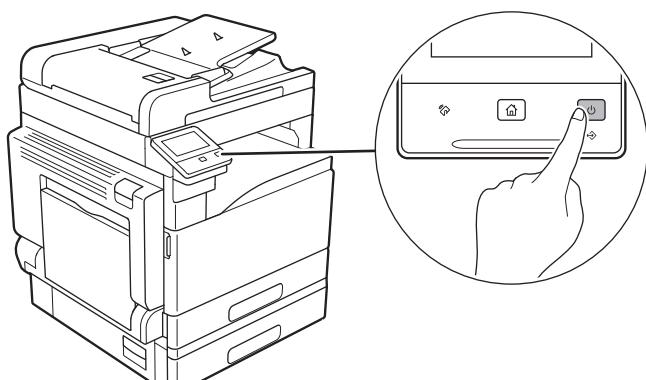
1. ⏪(電源/節電) ボタンを押す



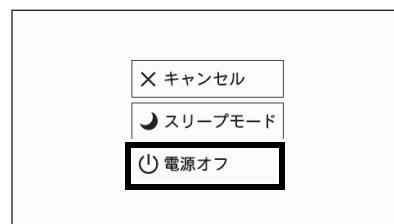
### 電源を切るとき

- 本機の電源を切るとメモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

1. ⏪(電源/節電) ボタンを押す



2. タッチパネルディスプレイの [電源オフ] をタップする



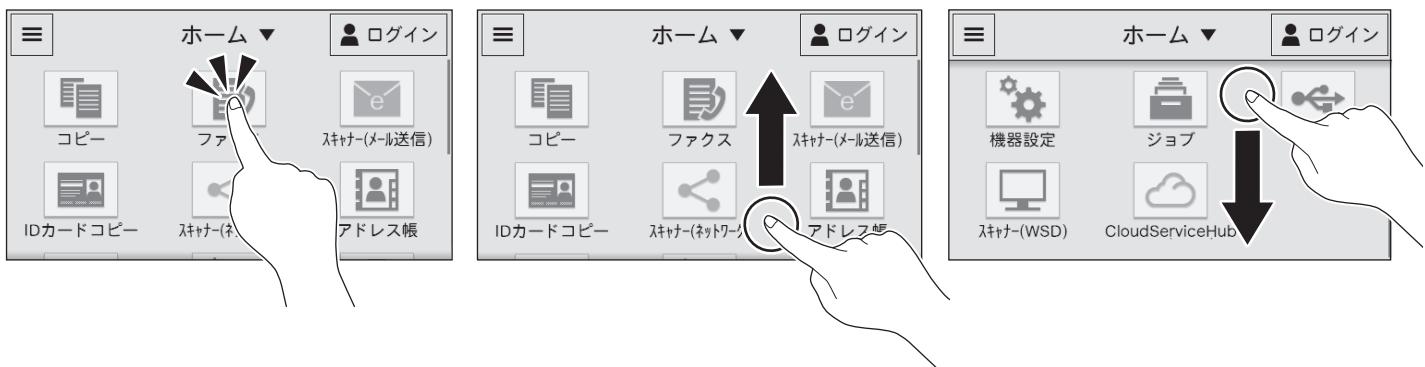
# タッチパネルディスプレイの使い方

## 機能ボタン／メニューを選ぶ

機能ボタンやメニューをタップします。

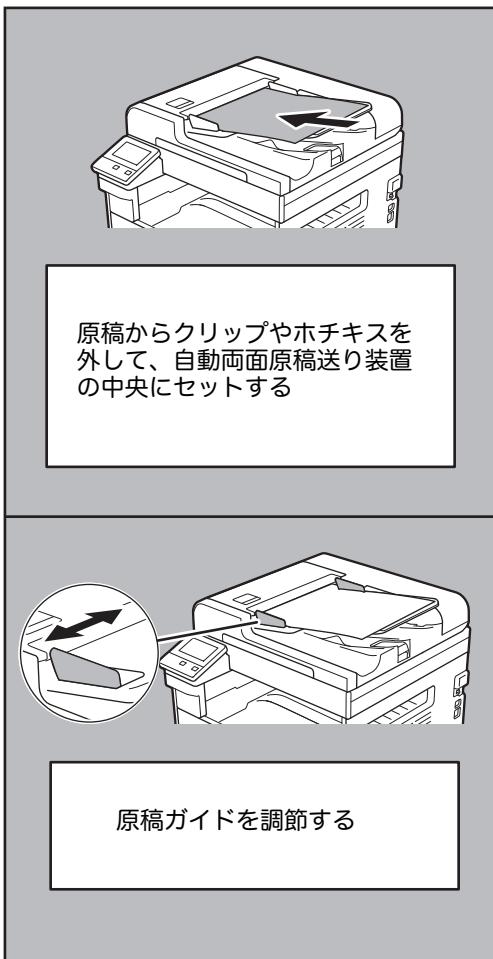
## 画面をスクロールする

上方向または下方向に、画面をフリックまたはスワイプします。

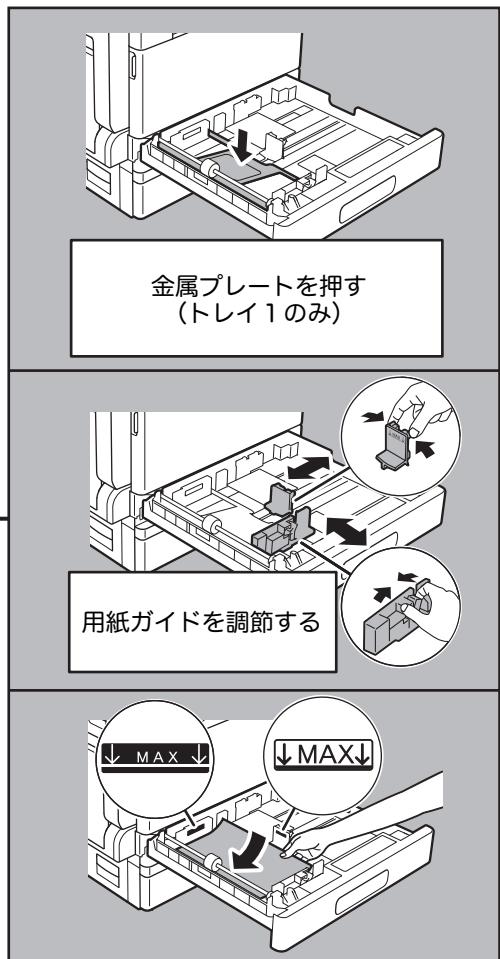


## 原稿／用紙のセット

### 自動両面原稿送り装置



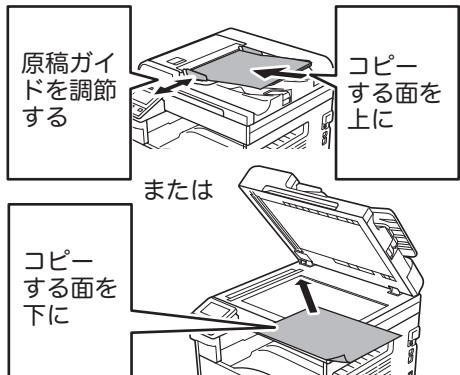
### 用紙トレイ



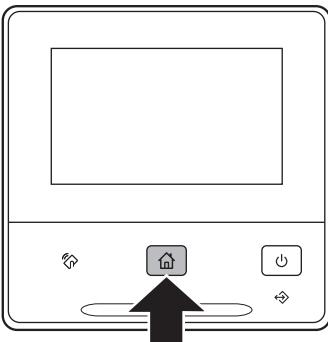
- しわや折りが付いている原稿は、きちんと伸ばしてからセットしてください。
- “MAX”の線より上に用紙をセットしないでください。
- 紙づまりやプリント後の用紙のカールが気になる場合は、用紙の表裏を変えたり、横向き／たて置きを変更したりすると改善することがあります。

# コピーのしかた

## 1. 原稿をセットする



## 2. ①〈ホーム〉ボタンを押す



## 3. [コピー] をタップする



## 4. ☰ をタップする



## 5. 必要に応じて設定を変更し、[◀] をタップする

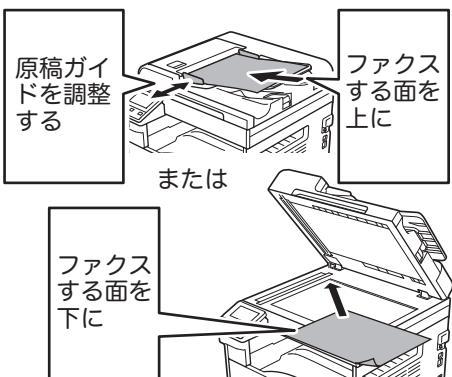


## 6. [部数] と [カラー モード] を設定し、[スタート] をタップする

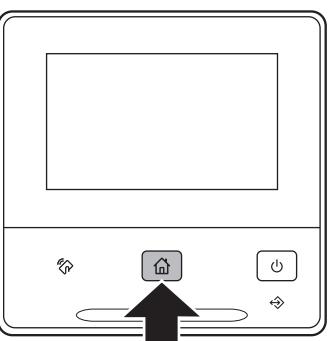


# ファクスのしかた

## 1. 原稿をセットする



## 2. ①〈ホーム〉ボタンを押す



## 3. [ファクス] をタップする



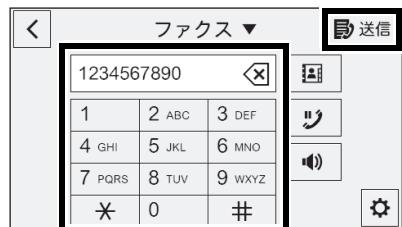
## 4. ☰ をタップする



## 5. 必要に応じて設定を変更し、[◀] をタップする



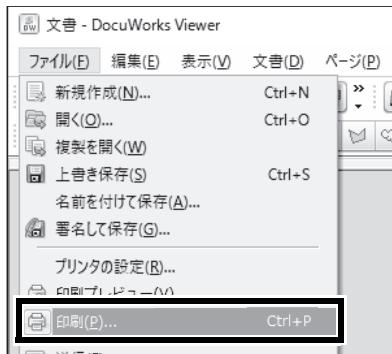
## 6. ファクス番号を入力して、[送信] をタップする



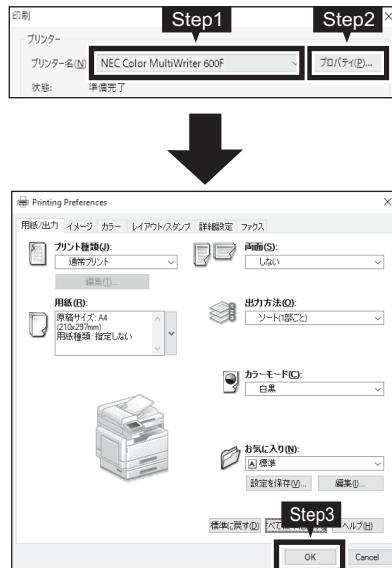
# プリントのしかた

ここでは、Windows® 10を例に手順を説明します。

## 1. コンピューターからプリントを指示する



## 2. 印刷するプリンターとプロパティを設定する



## 3. [OK] をクリックする

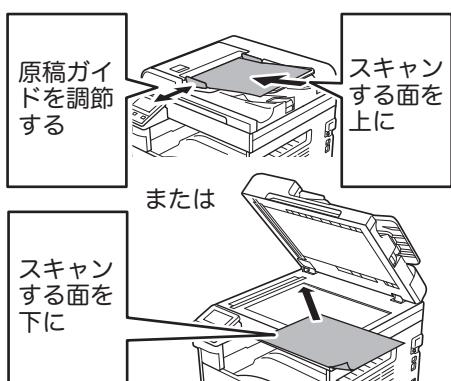


**i** 必要に応じて、各タブから設定する機能を選びます。

# スキャンのしかた

ここでは、Windows® 10を例に手順を説明します。

## 1. 原稿をセットする



## 2. [スタート] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックする



## 3. [機器の一覧] から本機を選び、[スキャン] をクリックする



## 4. 必要に応じて設定を変更する



## 5. [スキャン] をクリックする



## 6. [保存] をクリックする

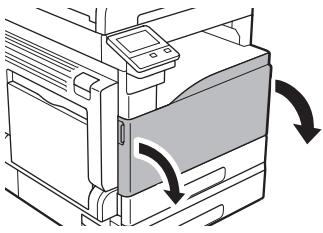


# 消耗品の交換

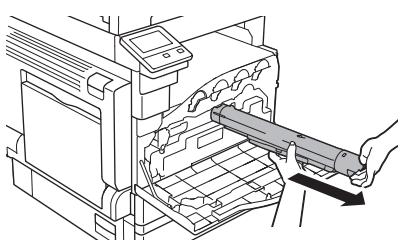
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジ、ドラムカートリッジまたはトナー回収ボトルを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないことがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルをご使用ください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジ、トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源は入れたままの状態にしておいてください。

## トナーカートリッジの交換

1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける



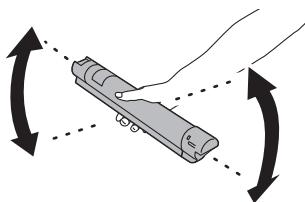
2. トナーカートリッジの取っ手を持ち、引き出す



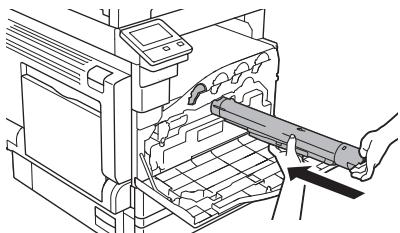
3. 取り出したトナーカートリッジと同じ色の、新しいトナーカートリッジを用意する

- トナーカートリッジはゆっくりと取り出してください。トナーが飛び散ることがあります。

4. トナーが均等になるように、新しいトナーカートリッジを軽く10回上下左右に振る



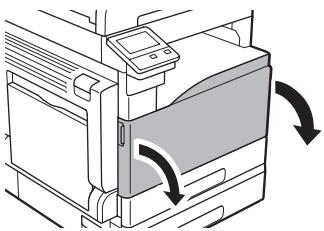
5. トナーカートリッジの矢印(↑)部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込む



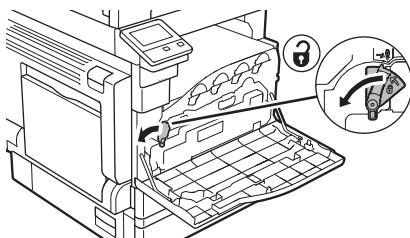
6. フロントカバーを閉じる

## ドラムカートリッジの交換

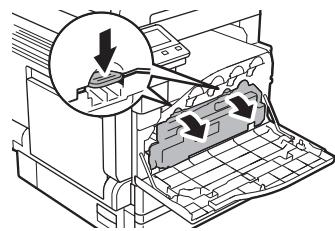
1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける



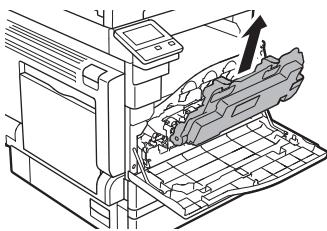
2. トナー回収ボトルのロックレバーを反時計回りに回す



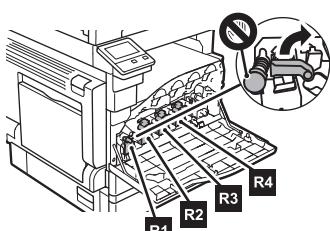
3. トナー回収ボトルのロックを解除する



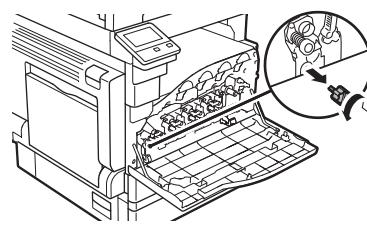
4. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向ける



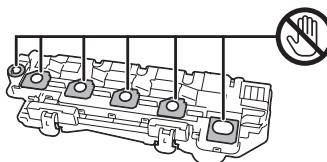
5. ドラムカートリッジのロックレバーを時計回りに回す



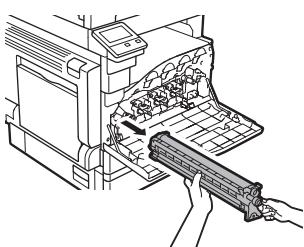
6. ドラムカートリッジのねじを外す



- i** ● トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。  
● トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。



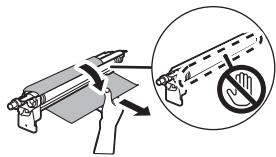
7. ドラムカートリッジを取り外す



8. ドラムカートリッジに付属しているビニール袋に、使い終わったドラムカートリッジを入れる

9. 新しいドラムカートリッジを用意する

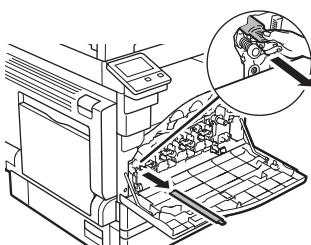
## 10. ドラムカートリッジの保護シートを取り外す



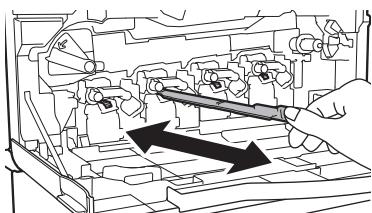
- 保護カバーは取り外さないでください。



## 13. 保護カバーを取り外す

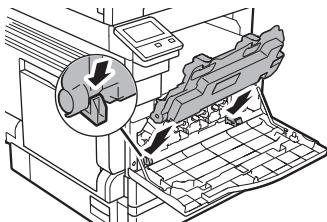


## 16. 交換したドラムカートリッジの清掃孔に、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜く

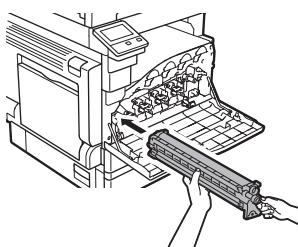


- パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。  
● 清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。

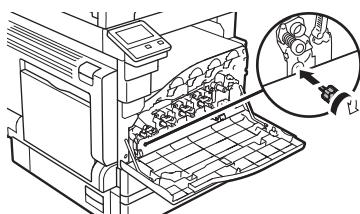
## 19. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットする



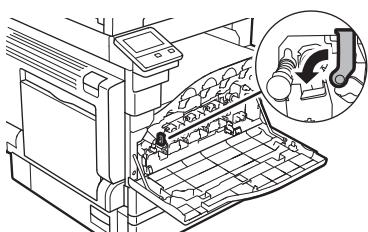
## 11. ドラムカートリッジを奥に突き当たるまで差し込む



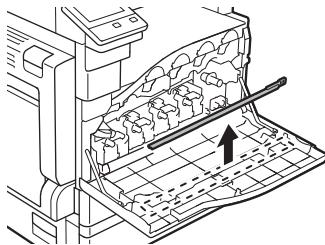
## 12. ドラムカートリッジのねじを締める



## 14. ドラムカートリッジのロックレバーを反時計回りに回す

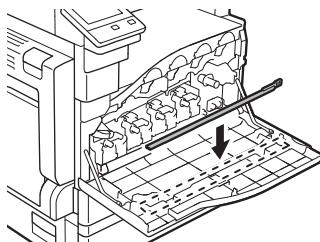


## 15. フロントカバー裏側から清掃棒を取り外す



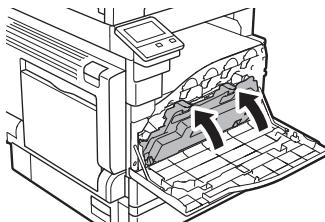
## 17. 残りの3つの清掃孔に対しても、手順16を繰り返す

## 18. 清掃棒をフロントカバー裏側に戻す

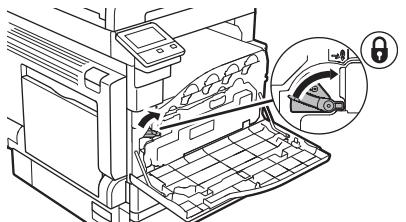





## 20. トナー回収ボトルを、力チックというまで押し込む



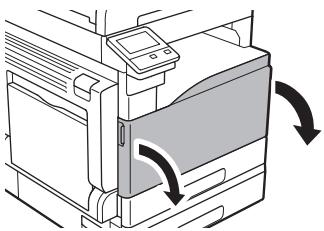
## 21. ロックレバーを時計回りに回す



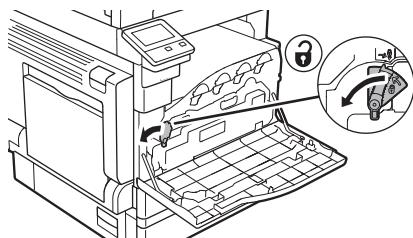
## 22. フロントカバーを閉じる

## トナー回収ボトルの交換

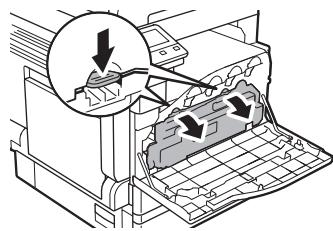
1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける



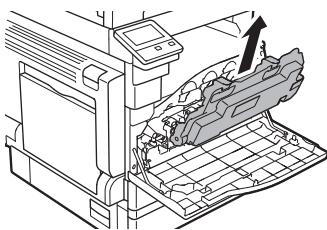
2. ロックレバーを反時計回りに回す



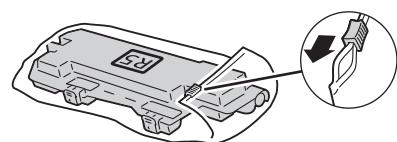
3. トナー回収ボトルのロックを解除する



4. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向ける

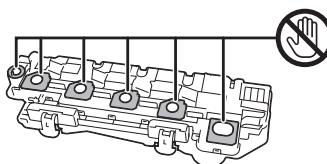


5. 新しいトナー回収ボトルに付属しているビニール袋に、使い終わったトナー回収ボトルを入れる

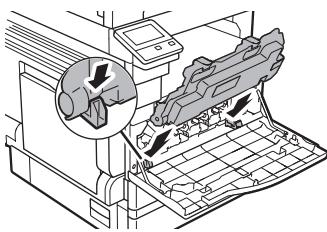


6. 新しいトナー回収ボトルを用意する

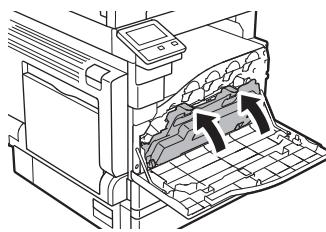
- トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。



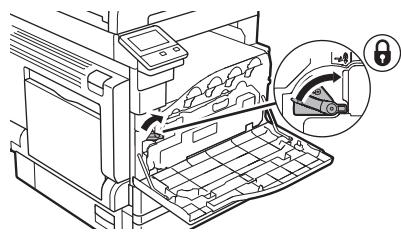
7. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットする



8. トナー回収ボトルを、力チッというまで押し込む



9. ロックレバーを時計回りに回す



10. フロントカバーを閉じる

# 安全をご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないなどの危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される場所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

## △ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

## 安全にかかわる表示

各警告図記号は以下のような意味を表しています

△ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
△ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
△ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



○記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



## 安全上のご注意

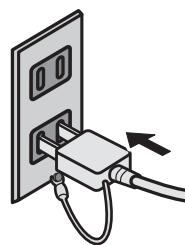
ここで示す注意事項は本機を安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、本機をより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

## 電源およびアース接続時の注意

### △ 警告



電源コードのアース線を取り付ける



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを850mm以上の地中に埋めたもの
- ・接地工事（D種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、設置接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアース線をご確認ください。アースが取れない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）



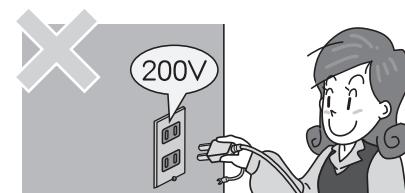
ぬれた手で電源プラグを触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。  
感電するおそれがあります。



100V以外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

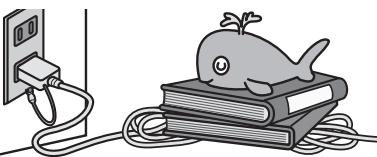
## ⚠ 注意

### 専用電源コード以外は使わない



本機に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

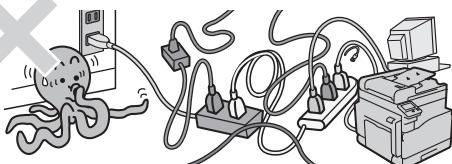
### 電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のサービス窓口または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

### 延長コードを使わない



添付のコードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のサービス窓口または販売店にご相談ください。

### 添付の電源コードを他の装置や用途に使わない



添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

### 清掃を行う場合は電源プラグを抜く



本機の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

### 電源コードを抜くときはコードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。



本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。  
緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう本製品はコンセントの近くに設置してください。

## 設置時の注意

### ⚠ 警告



### 電源コードを踏まない場所に設置する

本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。



### 発熱器具に近い場所には設置しない

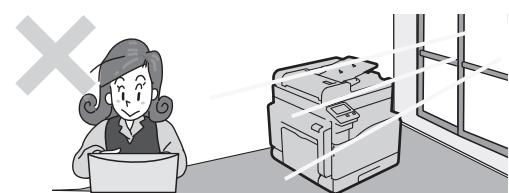
以下のような場所には本機を設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど

### ⚠ 注意



### 直射日光が当たるところには置かない



本機を窓ぎわなどの直射日光があたる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、本機が異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

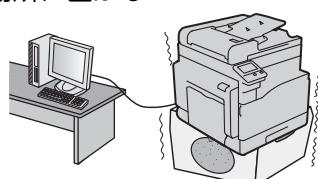


### 本機を運ぶときは4人以上で

本機の質量は、約49kg（本体のみ）です。本機を持ち上げるときは、本機の左右の手かけ部分を、4人でしっかりと持ってください。指示した場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。



### 不安定な場所に置かない



本機を不安定な場所には置かないでください。本機が破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

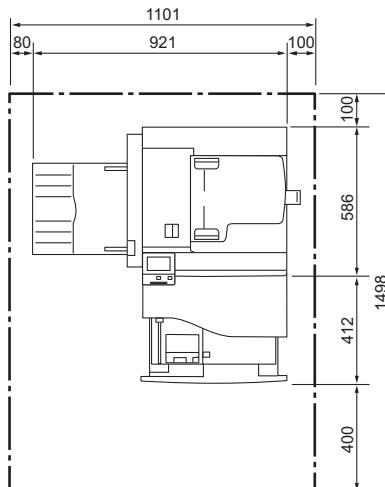


## 設置時は周囲のスペースを確保し通気口はふさがない

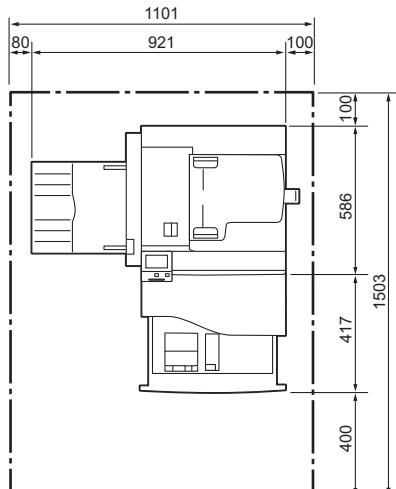
本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

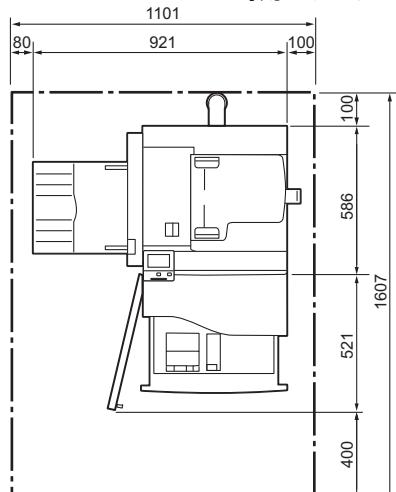
- ・本体のみの場合



- ・1トレイモジュールを取り付けた場合



- ・1トレイモジュールと専用キャビネットを取り付けた場合



## 本機を傾けない



本機を10度以上に傾けないでください。  
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。



## キャスターのストッパーは必ずロック

本機を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。

ストッパーをロックしないと、本機が思わず方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

## 機械使用上の注意



### 分解・修理・改造しない



マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。本機が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



### 本機内に異物を入れない



本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、本機の上に置かないでください。

- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・クリップやホチキスの針などの金属類
- ・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



### 煙や異臭、異音がしたら電源 OFF



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやピューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・本機の内部に水が入ったとき
- ・本機が水をかぶったとき
- ・本機の部品に損傷があったとき



### 電気を通しやすい紙は使用しない

電気を通しやすい紙（折り紙／カーボン紙／導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



### スプレーイタイプのクリーナーは使用しない

本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレーイタイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

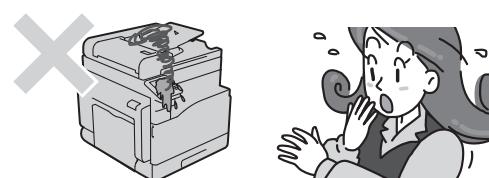


### CD-ROM 対応プレイヤー以外では使用しない

付属のCD-ROMをCD-ROM対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。



### 壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。



### 雷が鳴り出したら本機に触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。落雷などが原因で瞬間に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。



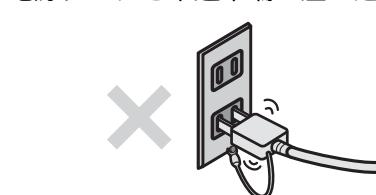
### 電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。



### 電源プラグを中途半端に差し込まない

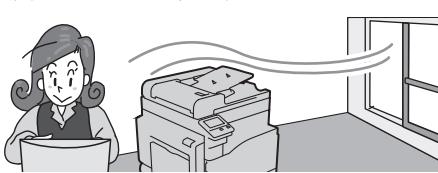


電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまつたままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

### △ 注意



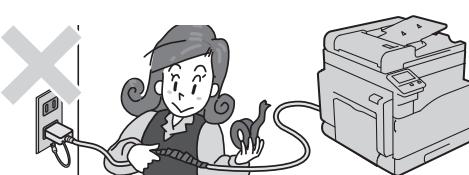
### 換気や通風を十分行う



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。



### 破損した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。



### インターロックスイッチを無効にしない

本機のインターロックスイッチを無効にしないでください。本機のインターロックスイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。



### 本機内部の詰まった用紙は無理に取り除かない

本機内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。



### 高温注意



本機のカバーを空けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。本機の内部には使用中に高温になる定着ユニットという部分があり、触ると火傷するおそれがあります。



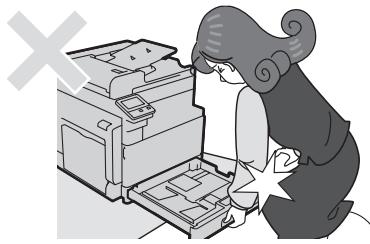
### 巻き込み注意



本機の動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。



用紙カセットを勢いよく引き出さない



用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

## 消耗品取り扱い上の注意

### 警告



#### 消耗品は正しく保管する

消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



#### 掃除機でトナーを吸い取らない



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。



#### トナーカートリッジやトナー回収ボトルを火の中に投げ入れない



トナーカートリッジやトナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやトナー回収ボトルは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

### 注意



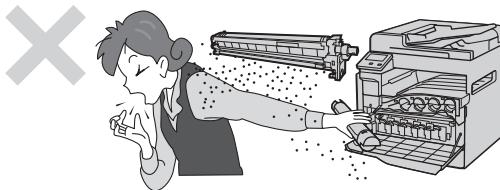
#### ドラムカートリッジやトナーカートリッジは、幼児の手が届かない場所に保管する



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



#### トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置

次の事項に従って、応急処置をしてください。

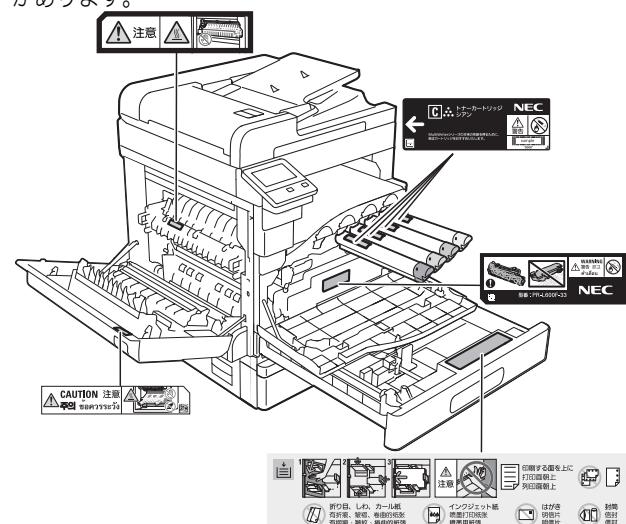
- ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

## 警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



# 規制について

## ⚠ 注意



### 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



### 受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

### 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2(高調波電流発生限度値)に適合しています。

## SDS( 安全データシート ) の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品のSDSを弊社ホームページにて公開しています。

## 環境について

### ・サポートについて

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後7年間保有しています。

### ・環境について

粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物(TVOC)の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しておりますColor MultiWriter 600Fトナーを使用し、試験方法Blue Angel RAL UZ-205:2017の付録S-Mに基づき試験を実施しました。)

- ・回収したトナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったトナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジ、トナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- ・機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。

(表示A特性音響パワーレベルLWAdが63dBを超える場合は音が気になると言われています。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。)

## 法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
  - ・紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。  
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
  - ・株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉庫証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

- ・各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
- ・契約書、遺産分割協議書など個人を名義人とする権利義務に関する文書。
- ・推薦状、履歴書、あいさつ状など、個人を名義人とする事実証明に関する文書。
- ・役所または公務員の印影、署名、記名。
- ・個人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

### (1) 複製

紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

### (2) 改変

紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを削除、書き換え、切り貼りすることなど。

### (3) 送信

電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

### ※法律に定める例外にあたる場合の例

- ・個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
- ・国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ・学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。  
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

# NEC MultiWriter をご購入のお客さまへ

## ～製品本来の性能でお使いいただくために～

### 『有寿命部品（有償）』の交換が必要です

NEC 製複合機では、その機能・性能を維持するために、印刷ページ数に応じて交換を必要とする部品があり、これを『有寿命部品』※と呼びます。

有寿命部品とは、紙を送り出すローラー部分など、印刷を重ねるたびに磨耗・劣化が避けられない部品のことです。有寿命部品の推奨交換周期（寿命の目安）を超えて使用し続けると、紙詰まりの多発や印刷ムラ・汚れなど、トラブルの元になってしまう可能性があります。

有寿命部品の推奨交換周期（寿命の目安）は、印刷ページ数によって設定されております。

有寿命部品を推奨交換周期ごとに交換する場合には、保守契約締結の有無や無償保証期間内か否かに関わらず、部品は有償とさせていただいておりますのでご了承ください（一部の機種につきましては、有寿命部品代金を含んだ保守メニューもご用意しております）。

お客さまにご使用いただいている MultiWriter の有寿命部品とその推奨交換周期につきましては、NEC Web サイト (<https://jpn.nec.com/printer/laser/>) をご参照いただきか、MultiWriter をお買い求めの販売店またはサービス窓口までお問い合わせください。

※「有償交換部品」「定期交換部品」という場合もあります。

#### 本装置の有寿命部品（有償交換部品、定期交換部品）

型番	品名	推奨交換周期 ※1	個数 ※2	適用	指定 ※3
PR-L600F	現像器キット	約 38,000 ページ	1	複合機本体	607K 1387*
	100K キット	約 100,000 ページ	1	複合機本体	607K 1388*
	原稿送りローラ キット	約 50,000 ページ	1	複合機本体	607K 1389*
	オプショントレイ ロールキット	約 38,000 ページ	1	1 トレイモジュール	607K 1390*

※1：「推奨交換周期」は、A4 □ の普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度、通電時間などにより大きく異なる場合があります。

※2：「個数」欄に記載された数字は、1 回あたりに交換する個数を表します。

※3：「指定」欄に記載の番号は識別用です。

- 品名、および指定は変更される場合がありますので、  
NEC Web サイト (<https://jpn.nec.com/printer/laser/>) をご参照いただきか、MultiWriter をお買い求めの販売店またはサービス窓口までお問い合わせください。
- 有寿命部品の参考価格につきましては、NEC Web サイト (<https://jpn.nec.com/printer/laser/>) をご参照ください。また、実際の部品価格はその都度、MultiWriter をお買い求めの販売店またはサービス窓口まで直接お問い合わせください。
- 有寿命部品の交換は販売店またはサービス窓口にご相談ください。安全上の理由等により、お客様ご自身による交換は行わないでください。
- 有寿命部品は保守契約を締結されている場合であっても有償になります。

## 消耗品は NEC 純正品のご使用をおすすめします

NEC 純正の消耗品（トナーカートリッジなど）は、MultiWriter の動作・印刷品質がもっとも安定するよう、MultiWriter 専用に開発・設計された商品です。

複合機の性能を維持し、安定・快適な出力環境を得るため、NEC 純正の消耗品をご使用されることをおすすめいたします。

NEC 純正品ではない消耗品をお使いになり、その商品が原因でトラブルが起きた場合の対応は、保守契約締結の有無や無償保証期間内か否かに関わらず、有償修理となる場合がございますので、ご注意ください。

### 本装置の消耗品

型番	品名	印字可能ページ数 ※1	個数 ※2	消耗品型番
PR-L600F	トナーカートリッジ（イエロー）	約 8,000 ページ	1	PR-L600F-11
	トナーカートリッジ（マゼンタ）	約 8,000 ページ	1	PR-L600F-12
	トナーカートリッジ（シアン）	約 8,000 ページ	1	PR-L600F-13
	トナーカートリッジ（ブラック）	約 10,000 ページ	1	PR-L600F-14
	トナー回収ボトル	約 15,000 ページ	1	PR-L600F-33
	ドラムカートリッジ	約 55,100 ページ	1	PR-L600F-31

※1：印字可能ページ数は、A4 □ の用紙を使用した場合の枚数です。印字可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

※2：「個数」欄に記載された数字は、1 台あたりに使用されている個数を表します。

- 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジ（ブラック）の印刷可能ページ数は、約 4,000 ページです。
- 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジ（イエロー）、トナーカートリッジ（マゼンタ）、トナーカートリッジ（シアン）の印刷可能ページ数は、約 2,500 ページです。

# Cloud Service Hub のご利用について

本機の操作パネルおよび本機のソフトウェアであるPrint & Scan Hub<sup>※1</sup> (Windows<sup>®</sup>)の画面に表示されるCloud Service Hub<sup>※2</sup> の機能については、現在提供準備中です。

Cloud Service Hub にアクセスするとログイン画面は表示されますが、準備中のためログインはできません。

サービス開始については、NEC Web サイト (<http://jpn.nec.com/printer/laser/>) にてお知らせします。

※1：本機に付属する「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使ってインストールできます。

※2：Cloud Service Hub は、富士ゼロックス株式会社が提供するクラウドサービスです。

## ● 操作パネル



## ● Print & Scan Hub

